

Indicators Update

2011年10月24日 全11頁

9月貿易統計～輸出の回復が続く

経済調査部 エコノミスト 長内 智

海外経済の減速が輸出の重石になる見込み

[要約]

- **【概況】輸出は市場コンセンサスを上回る**：2011年9月の貿易統計は、輸出が東日本大震災後の大幅な減少から着実に持ち直してきていることを確認できる内容であった。輸出金額は前年比+2.4%と2ヶ月連続のプラスとなり、市場コンセンサスも上回った。また、輸出金額の季節調整値をみても、前月比では+2.0%と8月よりも伸び率が拡大した。輸入金額は、資源価格の高止まりや原子力発電所事故・稼働停止問題に伴う代替燃料の需要増加によって、前年比+12.1%と21ヶ月連続のプラス。
- **【地域・品目別動向（名目）】輸送用機器が堅調に回復**：主要品目別の輸出金額では、震災で甚大な被害を受けた「輸送用機器」が前年比+5.1%と2ヶ月連続のプラスとなった点が注目される。輸送用機器の生産がほぼ震災前の水準に戻っていることが、輸出の堅調な回復に繋がった形である。「一般機械」が前年比▲0.6%と僅かながらも21ヶ月振りのマイナスとなった点には留意したい。アジア向けが大きく落ち込んでおり、アジア地域の景気減速の影響が出始めた可能性がある。
- **【今後の見通し】海外経済の減速が重石**：輸出の先行きは、海外経済の減速が引き続き重石となり、緩やかな回復ペースとなる見込みである。世界景気と為替からみた日本の輸出数量の推計値（当社推計）は、6月に頭打ちしてから4ヶ月連続で低下しており、短期的に日本の輸出が足踏みすることを示唆している。今夏以降の資源価格の調整を受けて、輸入価格の伸びは10-12月期以降に鈍化する見通しであり、それに伴って輸入金額の増勢も一服するとみられる。タイ向け輸出の主要品目では、原料別製品（鉄鋼・非鉄・金属など）、一般機械、輸送用機器の構成比が大きく、当面はこれらが輸出の下押し圧力となる公算である。

【概況】輸出は市場コンセンサスを上回る

輸出は持ち直しを続ける

2011年9月の貿易統計は、輸出が東日本大震災後の大幅な減少から着実に持ち直してきていることを確認できる内容であった。輸出金額は前年比+2.4%と2ヶ月連続のプラスとなり、市場コンセンサス（同+1.0%）も上回った。輸出金額の季節調整値をみても、前月比が+2.0%と8月（同+0.3%）よりも伸び率が拡大した。輸入金額は、資源価格の高止まりや原子力発電所事故・稼働停止問題に伴う代替燃料の需要増加によって、前年比+12.1%と21ヶ月連続のプラスとなった。貿易収支は+3,004億円と2ヶ月振りの黒字となったが、9月は季節的に輸出金額が輸入金額より大きくなる傾向があることを幾分差し引いて考える必要がある。貿易収支の季節調整値は▲218億円と赤字幅は大きく縮小したものの、4月から6ヶ月連続で赤字が続く。また、今夏以降の資源価格の調整を受けて、輸入価格は前年比+11.1%と増勢に一服感が始めている。ただし、伸び率は3ヶ月連続の2桁増となっており、輸入価格の動向については引き続き注視する必要があると考えている。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）～ 輸入価格の上昇に一服感が始まった

	2010年			2011年								9月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
輸出金額	7.8	9.1	12.9	1.4	9.0	▲2.3	▲12.4	▲10.3	▲1.6	▲3.4	2.8	2.4
コンセンサス												1.0
DIR予想												0.9
輸入金額	8.9	14.3	10.7	12.2	10.0	12.0	9.0	12.4	9.8	9.9	19.2	12.1
輸出数量	5.3	9.1	11.4	2.3	9.2	▲3.3	▲11.6	▲10.8	▲2.7	▲5.3	0.9	1.7
価格	2.4	▲0.1	1.4	▲0.9	▲0.2	1.0	▲0.9	0.5	1.1	2.0	1.9	0.7
輸入数量	5.8	15.4	7.8	11.2	4.9	5.5	1.3	5.5	1.7	▲2.6	6.0	0.9
価格	3.0	▲1.0	2.8	0.9	4.9	6.2	7.6	6.5	8.0	12.9	12.4	11.1
貿易収支	8,126	1,576	7,196	▲4,794	6,503	1,863	▲4,677	▲8,573	673	679	▲7,772	3,004

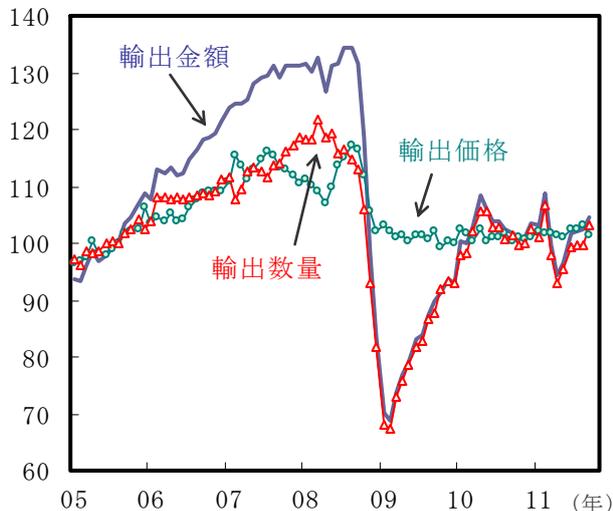
（注1）貿易収支は億円。

（注2）コンセンサスはBloomberg。

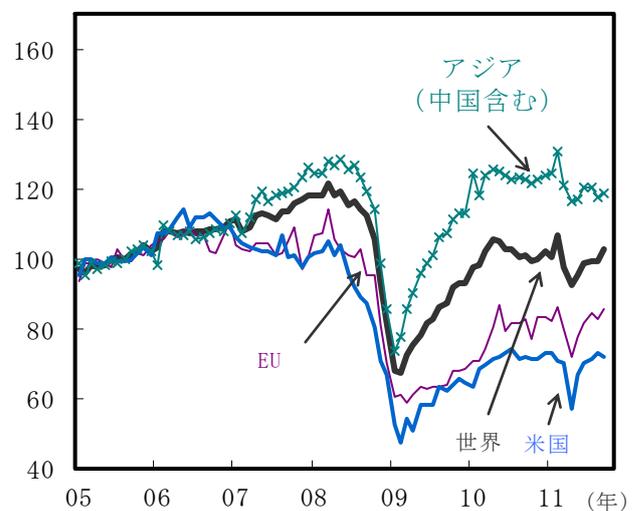
（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

図表2：輸出金額・価格・数量と地域別輸出数量の推移（季節調整値）～ 米国向けに一服感

（2005年=100） 金額・数量・価格



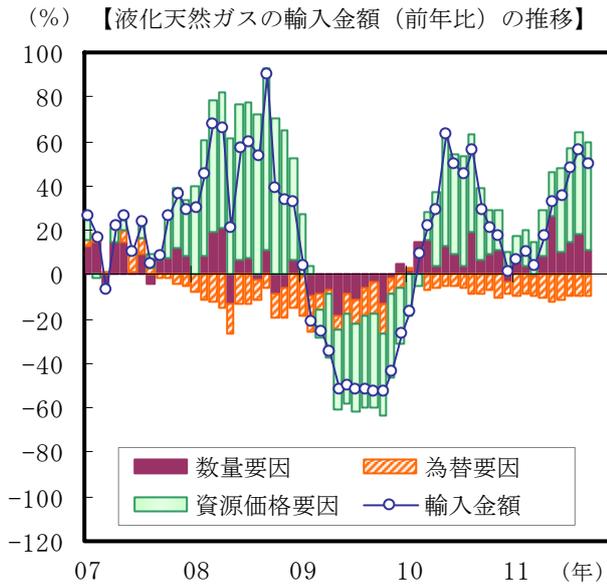
（2005年=100） 地域別の数量指数



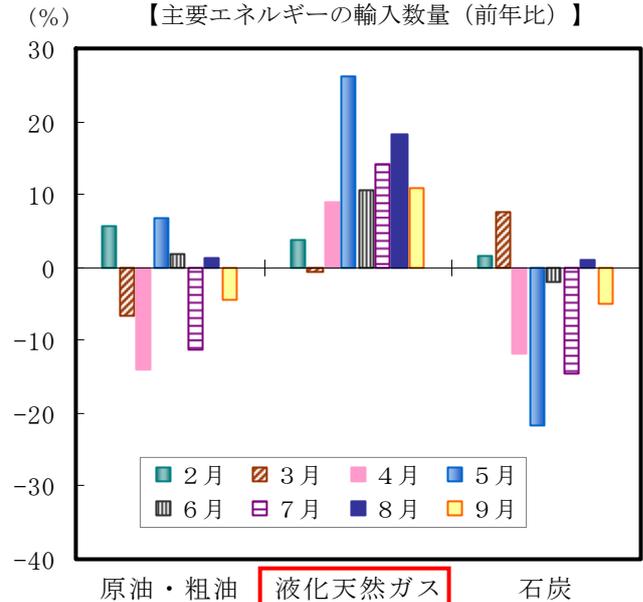
（注）季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。

（出所）財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 液化天然ガスの輸入金額と主要エネルギーの輸入数量 (前年比)



(注) 近似誤差により要因の合計は、全体と一致しない。
(出所) 財務省統計より大和総研作成



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【地域・品目別動向 (名目)】 輸送用機器が堅調に回復

一般機械が21ヶ月振りのマイナス

主要品目別の輸出金額では、震災で甚大な被害を受けた「輸送用機器」が前年比+5.1%と2ヶ月連続のプラスとなった点が注目される。輸送用機器の生産がほぼ震災前の水準に戻っていることが、輸出の堅調な回復に繋がった形である。他方、震災や世界的なIT関連製品の需要鈍化の影響で「電気機器」は前年比▲4.0%と7ヶ月連続のマイナスとなった。電気機器については、日本の輸出に先行する韓国と台湾の電子部品の出荷・在庫バランスが弱含み傾向にあることから、しばらく調整局面が続くとみられる。また、「一般機械」が前年比▲0.6%と僅かながらも21ヶ月振りのマイナスとなった点には留意したい。アジア向けが前年比▲8.5%と大きく落ち込んでおり、アジア地域の景気減速の影響が出始めた可能性がある。

輸入については、代替燃料の需要増加と価格高騰を背景に、「液化天然ガス」の輸入金額が前年比+49.8%、輸入数量が同+11.0%と揃って大幅に増加した。他方、原油・粗油は、価格要因で輸入金額が前年比+26.3%と拡大基調が継続したが、輸入数量は同▲4.4%と2ヶ月振りにマイナスへ転じた。

主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比+0.4% (8月、同+3.5%)、EU向けが同+7.6% (8月、同+6.0%)、アジア向けが同+0.2% (8月、同+0.3%)となった。EU向けは、同地域の財政・金融問題の影響が懸念されたが、自動車の輸出が大きく伸びたことで、前月よりもプラス幅が拡大した。

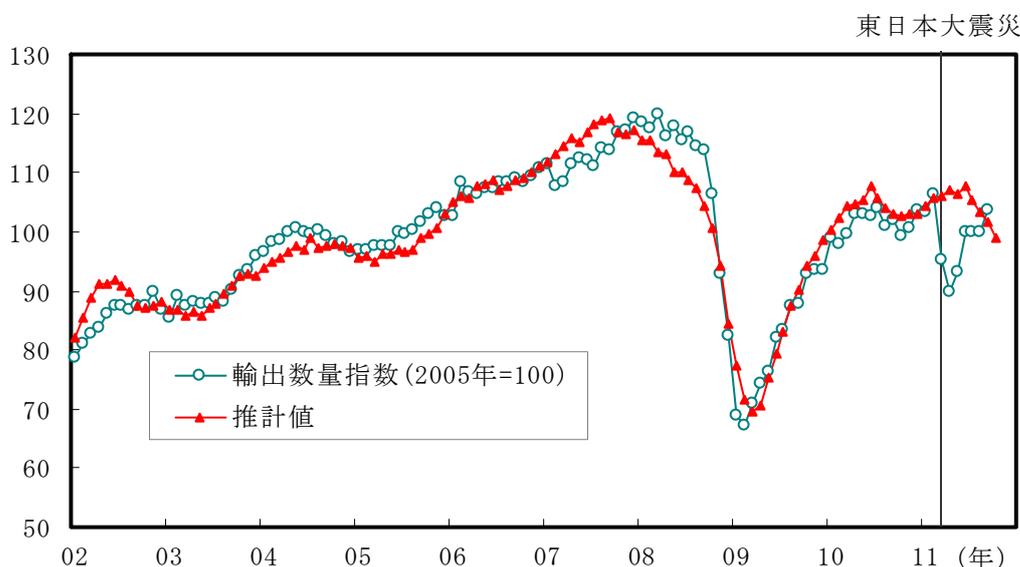
【今後の見通し】海外経済の減速が重石

今後、輸出が足踏みする可能性

輸出の先行きは、海外経済の減速が引き続き重石となり、緩やかな回復ペースとなる見込みである。これまでの海外経済の減速は、欧米の財政問題の深刻化に伴う国際金融市場の混乱、先進国の企業・消費者マインドの軟化、米国の雇用環境改善の遅れなど、主に先進国経済に起因するものであった。しかし、足下では、先進国向け輸出の鈍化などを通じて、新興国経済にまで影響が波及し始めている点に気をつけたい。世界景気と為替からみた日本の輸出数量の推計値（当社推計）は、6月に頭打ちしてから4ヶ月連続で低下しており、短期的に日本の輸出が足踏みすることを示唆している。

今夏以降の資源価格の調整を受けて、輸入価格の伸びは10-12月期以降に鈍化する見通しであり、それに伴って輸入金額の増勢も一服するとみられる。ただし、輸入価格の水準が依然として高いことに加えて、海外経済の減速によって輸出の鈍化が見込まれることを踏まえると、貿易収支の改善ペースは緩やかなものに留まると考えている。また、タイの洪水被害が日本の貿易額に及ぼすマイナスの影響にも注意が必要であろう。タイ向け輸出の主要品目では、原料別製品（鉄鋼・非鉄・金属など）、一般機械、輸送用機器の構成比が大きく、当面はこれらが輸出の下押し圧力となる公算である。

図表4：世界景気と為替による輸出数量指数



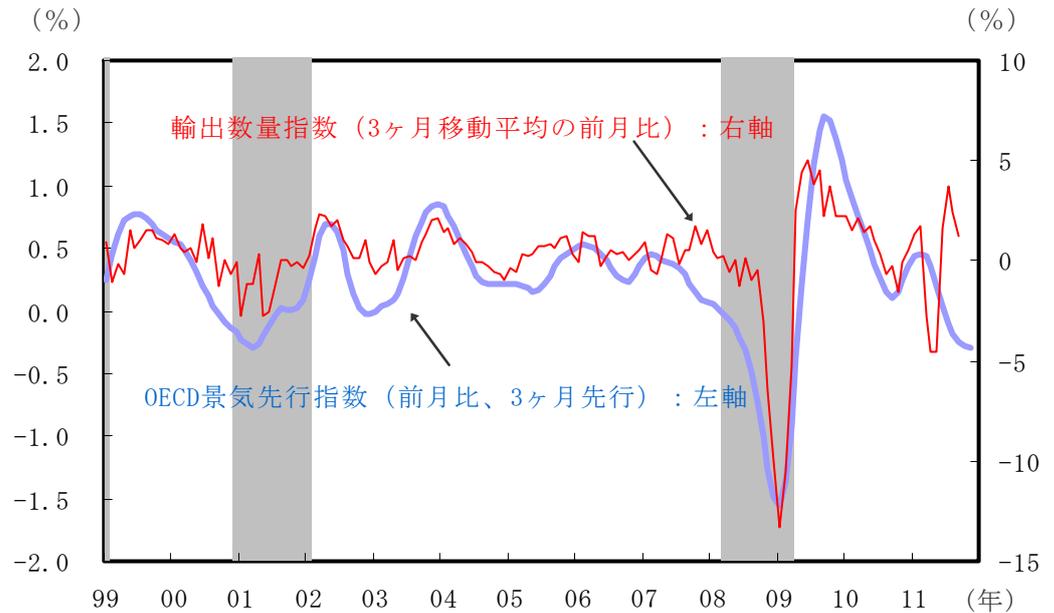
(注1) 輸出数量(推計値) = $-130.80 + 2.63 \times \text{OECD_CLI}[-2] + 0.18 \times \text{OECD_CLI_TR}[-2] - 0.53 \times \text{実質実効為替}[-2]$

* 括弧内[]は先行月数。係数は全て1%有意。推計期間は02年1月～11年2月。
OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。
OECD_CLI_TRは、トレンド復元ベースのCLI。

(注2) 輸出数量指数の季節調整は内閣府、直近月は大和総研推計。

(出所) 財務省、内閣府、OECD、日本銀行統計より大和総研作成

図表5：OECD 景気先行指数と輸出数量指数 ～ 世界経済は減速傾向を強める



(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計した指数。

(注2) シャドローは景気後退期。

(出所) OECD、内閣府統計より大和総研作成

図表6：日本の輸出入（対タイ）

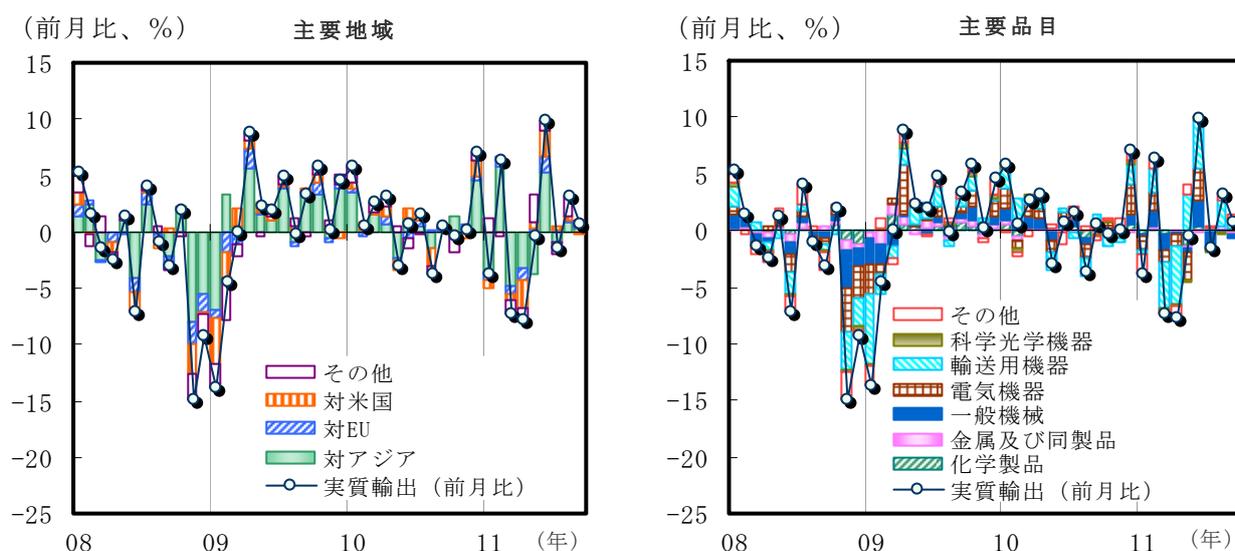
	輸出 (2010年)			輸入 (2010年)		
	金額 (十億円)	商品構成比 (%)	対世界 (%)	金額 (十億円)	商品構成比 (%)	対世界 (%)
総額	2993.7	100.0	4.4	1840.0	100.0	3.0
食料品	17.9	0.6	4.4	317.3	17.2	6.1
原料品	43.0	1.4	4.5	136.5	7.4	2.9
鉱物性燃料	13.0	0.4	1.2	23.8	1.3	0.1
化学製品	286.2	9.6	4.1	157.7	8.6	2.9
原料別製品	716.4	23.9	8.2	207.4	11.3	3.9
一般機械	694.6	23.2	5.2	246.8	13.4	5.1
電気機器	630.3	21.1	5.0	390.1	21.2	4.8
輸送用機器	367.9	12.3	2.4	92.7	5.0	5.5
その他	224.3	7.5	2.8	267.7	14.6	3.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成

【参考】実質輸出の動向

実質輸出（季節調整値、当社試算）は、前月比+0.7%と2ヶ月連続のプラスとなったものの、プラス幅は小幅に留まった。これは、「輸送用機器」が前月比+2.6%と8月（同+11.1%）より大きく鈍化したことによる。主要国・地域別では、米国向けが前月比▲1.4%、EU向けが同+1.7%、アジア向けが同+0.6%となった。米国向けは、「輸送用機器」が全体を押し下げことで、5ヶ月振りのマイナスとなった。

図表7：実質輸出（季節調整済み前月比）の主要項目別の寄与度 ～ 先行きに留意が必要

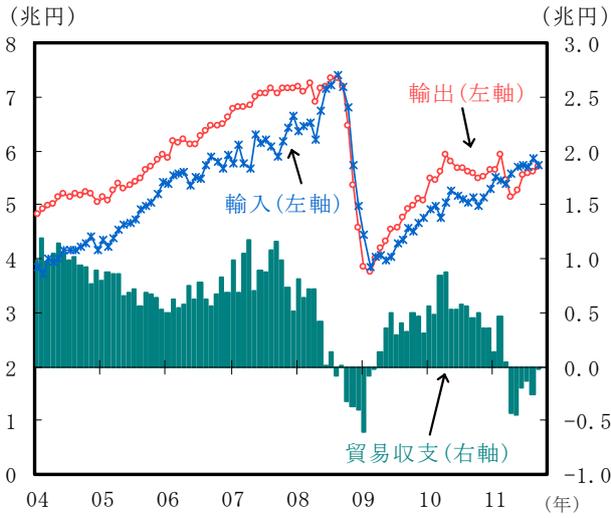


(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

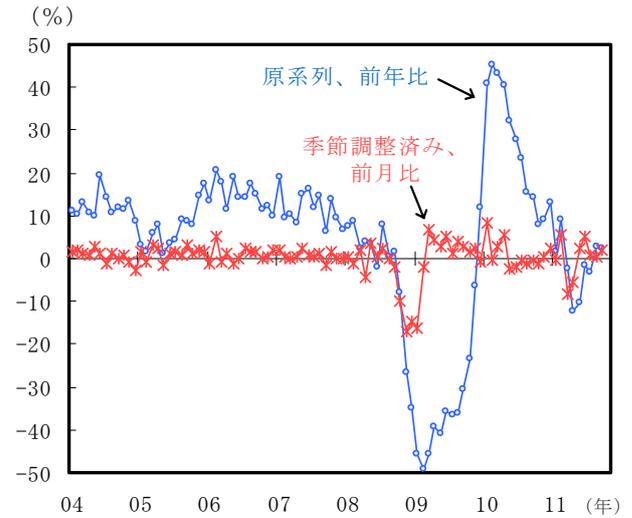
概況 貿易収支（季節調整値）の赤字幅が大きく縮小

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

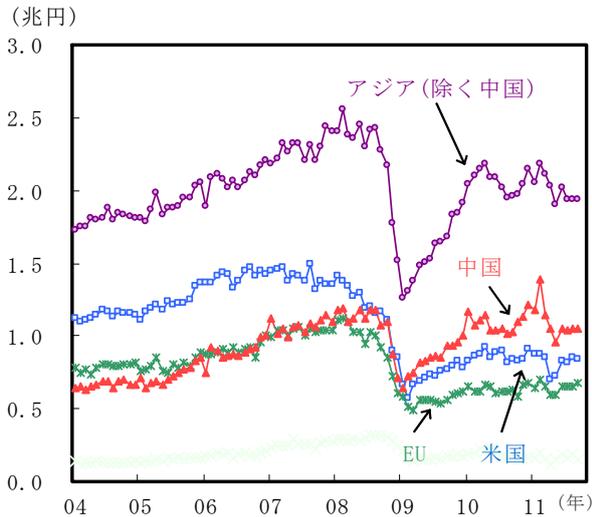


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

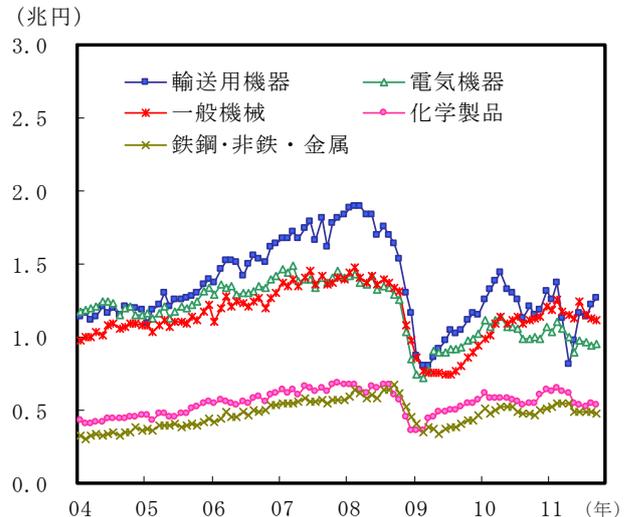


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

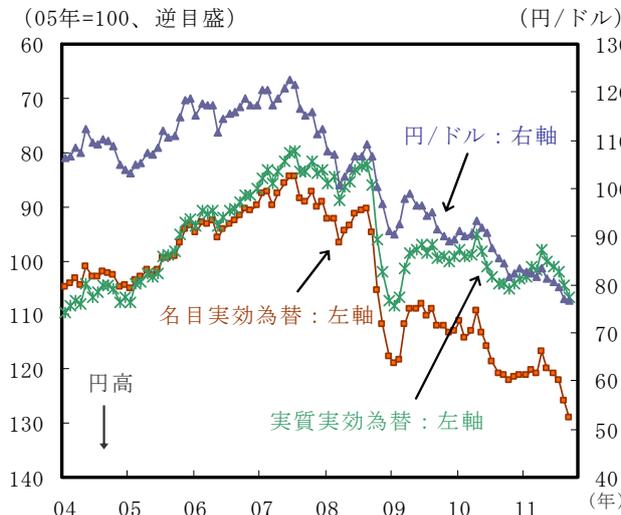


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）

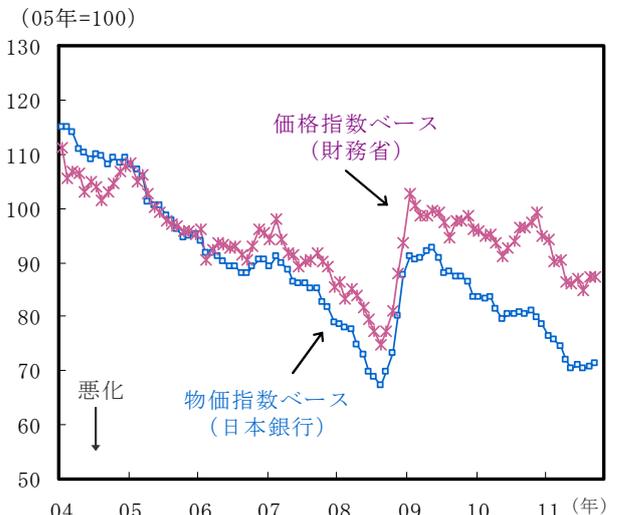


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件

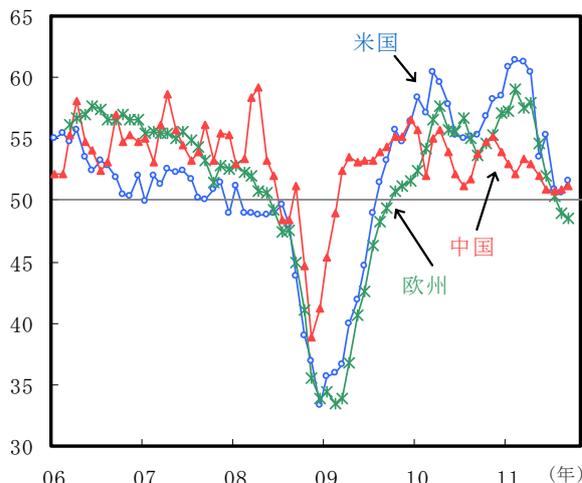
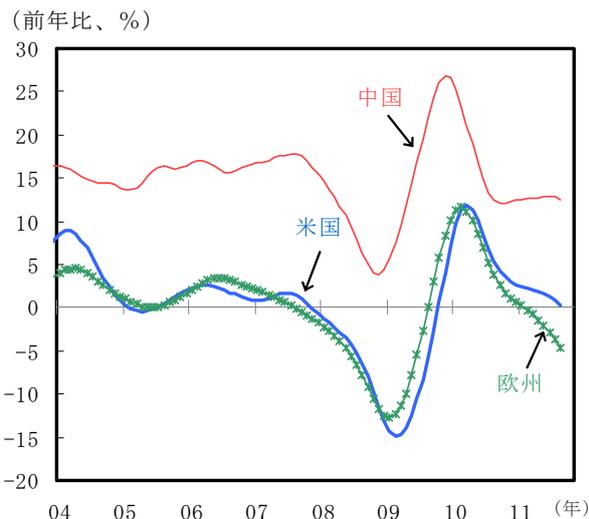


海外環境

欧米の減速傾向が強まる

OECDの景気先行指数（米国・中国・欧州）

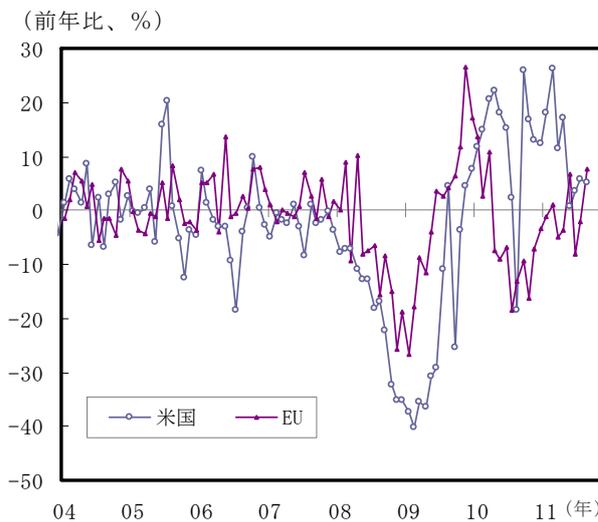
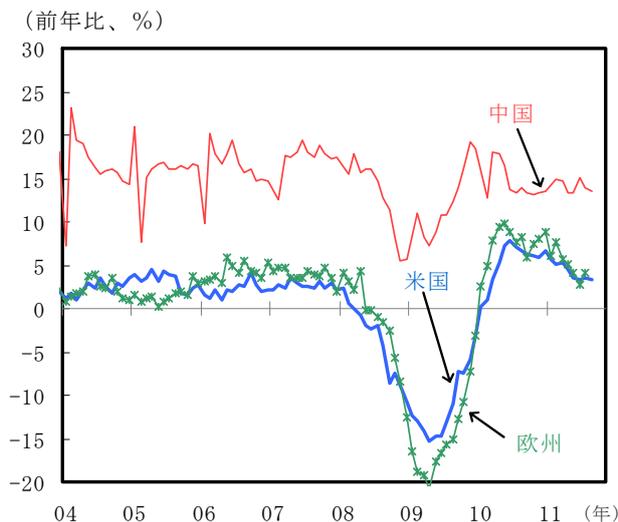
製造業PMI（米国・中国・欧州）



(注) 景気先行指数はトレンドを含むベース。
 (出所) OECD、米ISM、中国物流購買連合会、Markitより大和総研作成

鉱工業生産指数（米国・中国・欧州）

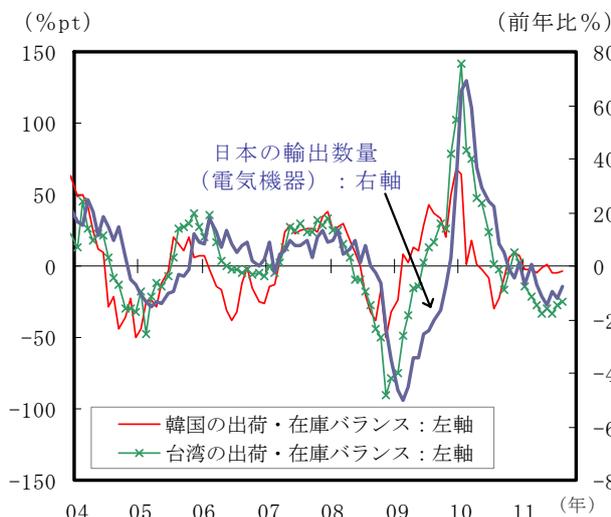
米国と欧州の自動車販売



(出所) 中国国家统计局、Eurostat、FRB、オートデータ社、欧州自動車工業会(ACEA)より大和総研作成

韓国・台湾の出荷・在庫バランス（電子部品）

機械受注と工作機械受注の外需（季節調整値）

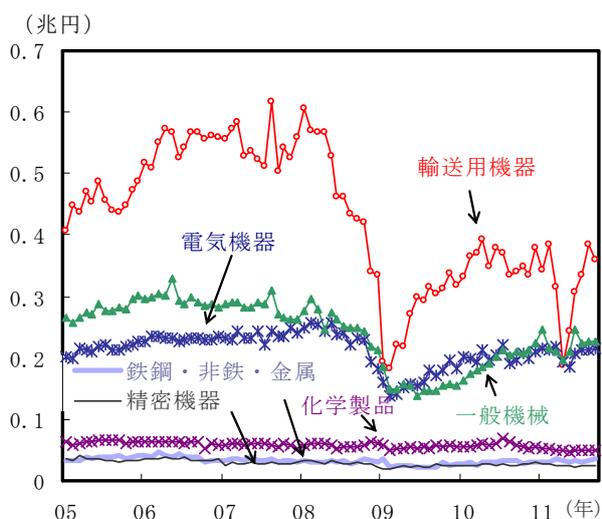


(注) 工作機械受注の季節調整は大和総研。
 (出所) 財務省、内閣府、日本工作機械工業会統計、CEICより大和総研作成

主要地域・国別の実質輸出(季節調整済み)

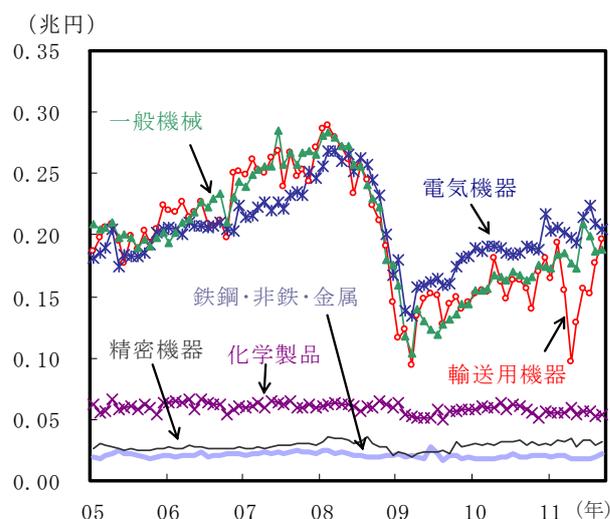
アジア向けの一般機械に減速感

米国向け

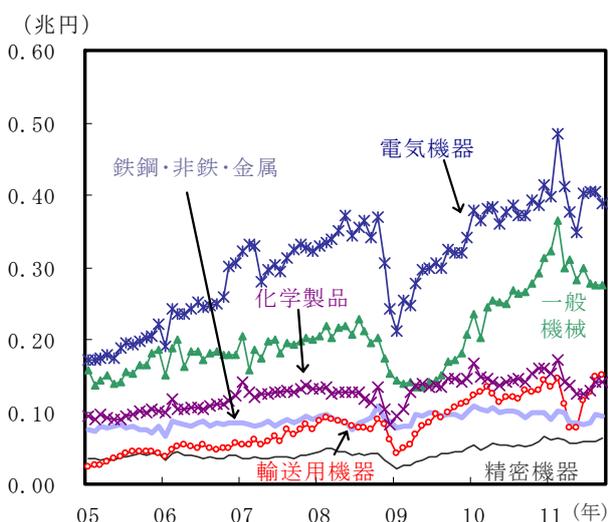


(注) 実質化と季節調整は大和総研。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

EU向け

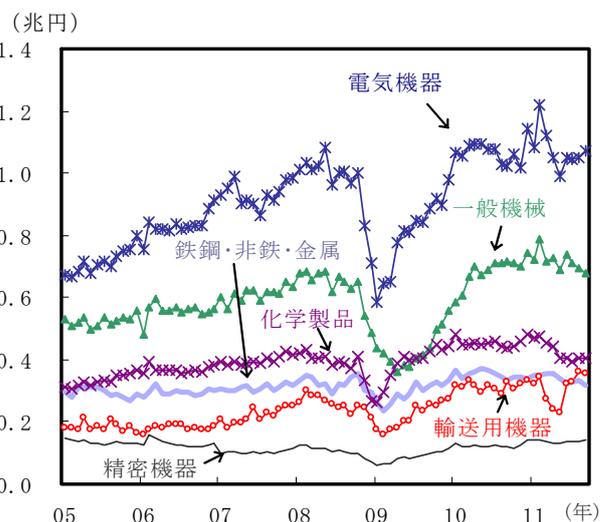


中国向け

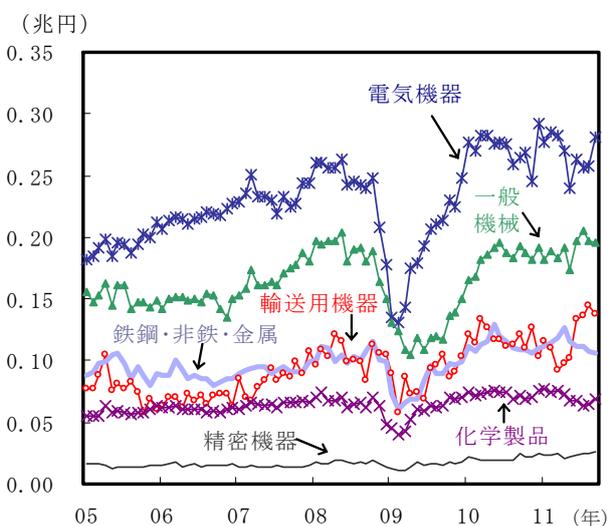


(注) 実質化と季節調整は大和総研。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

アジア向け(中国含む)

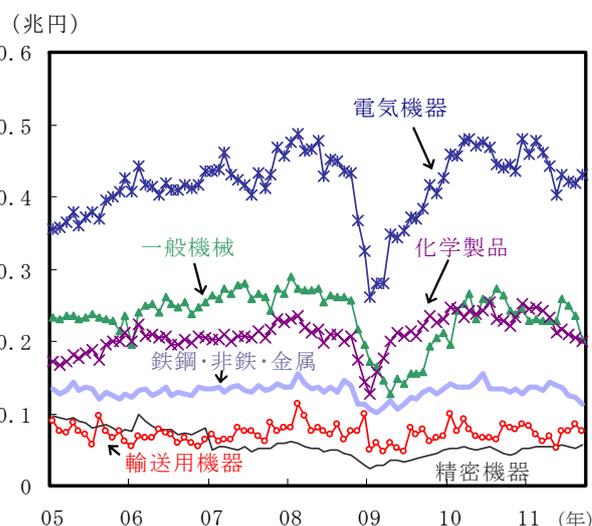


ASEAN向け



(注) 実質化と季節調整は大和総研。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

NIES向け



輸出金額 内訳

	2011/04	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲12.4	▲10.3	▲1.6	▲3.4	2.8	2.4	100.0	2.4
食料品	▲22.9	▲22.2	▲2.6	▲12.4	▲9.7	▲12.6	0.5	▲0.1
原料品	▲12.6	▲11.6	10.2	18.9	11.8	17.4	1.4	0.2
鉱物性燃料	▲46.1	0.8	86.4	36.1	8.5	8.9	2.0	0.2
化学製品	8.0	▲5.4	▲4.5	▲6.5	0.2	▲1.3	9.1	▲0.1
原料別製品	1.6	▲5.1	▲3.3	▲1.2	2.2	1.4	12.3	0.2
鉄鋼	6.0	▲4.7	▲6.0	1.1	1.5	▲4.6	5.1	▲0.3
非鉄金属	▲3.9	▲16.8	▲7.1	▲1.4	5.4	13.6	1.9	0.2
金属製品	2.3	▲2.1	▲0.9	▲6.6	0.5	4.5	1.5	0.1
一般機械	1.5	3.7	11.0	1.3	2.6	▲0.6	19.2	▲0.1
電気機器	▲12.5	▲16.5	▲8.7	▲8.2	▲4.9	▲4.0	18.0	▲0.8
半導体等電子部品	▲19.0	▲18.5	▲17.1	▲15.0	▲16.4	▲9.0	5.5	▲0.6
I C	▲24.0	▲23.2	▲21.2	▲16.7	▲17.3	▲7.6	3.7	▲0.3
映像記録・再生機器	▲54.1	▲31.0	4.0	17.6	19.8	▲9.6	1.2	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲20.8	▲30.9	▲24.3	▲22.2	▲16.7	▲17.8	0.7	▲0.2
電気回路等の機器	▲2.2	▲16.6	▲5.1	▲10.6	0.3	2.2	2.6	0.1
輸送用機器	▲43.2	▲26.6	▲10.5	▲7.9	7.7	5.1	24.2	1.2
自動車	▲67.0	▲38.9	▲12.5	▲3.8	5.3	4.9	14.4	0.7
自動車の部分品	▲14.8	▲18.5	▲10.3	▲4.7	5.2	11.5	5.0	0.5
その他	▲4.3	▲6.3	2.1	▲1.7	8.9	14.7	13.3	1.7
科学光学機器	▲1.6	▲3.8	7.9	4.8	3.7	15.2	3.3	0.4

米国向け輸出金額 内訳

	2011/04	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲23.3	▲14.6	▲6.1	▲8.2	3.5	0.4	100.0	0.4
食料品	▲6.5	2.5	7.1	5.8	3.6	▲10.0	0.5	▲0.1
原料品	19.7	▲32.3	▲41.2	▲3.3	▲22.3	▲7.2	0.4	▲0.0
鉱物性燃料	▲40.6	▲60.9	101.2	▲29.5	▲36.6	▲91.4	0.1	▲0.6
化学製品	▲11.9	▲11.6	▲10.4	▲19.8	▲9.7	▲6.9	5.5	▲0.4
原料別製品	7.3	5.3	4.3	▲5.2	▲0.6	4.6	7.6	0.3
鉄鋼	38.2	7.6	26.8	5.0	14.6	13.0	2.2	0.3
非鉄金属	15.8	▲1.1	17.3	13.1	7.9	2.2	0.5	0.0
金属製品	2.8	9.1	▲9.2	▲14.9	0.2	13.5	1.7	0.2
一般機械	3.4	7.1	17.8	3.3	8.4	4.5	23.2	1.0
電気機器	▲17.6	▲14.0	▲7.6	▲10.3	1.5	0.7	16.1	0.1
半導体等電子部品	▲30.2	▲19.9	▲29.8	▲14.7	▲11.7	9.2	2.6	0.2
I C	▲41.3	▲23.0	▲38.3	▲18.7	▲13.1	13.1	1.6	0.2
映像記録・再生機器	▲67.0	▲40.0	▲0.3	12.2	25.0	▲4.0	2.1	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲14.8	▲32.7	▲24.2	▲18.2	80.1	▲16.0	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	▲10.6	▲18.5	▲18.3	▲29.4	▲10.4	▲7.8	1.4	▲0.1
輸送用機器	▲54.5	▲33.0	▲20.0	▲11.5	10.2	0.5	36.6	0.2
自動車	▲73.5	▲43.5	▲23.6	▲14.4	15.3	▲4.6	26.4	▲1.3
自動車の部分品	▲6.3	▲22.5	▲20.1	▲11.0	▲9.2	15.5	7.1	1.0
その他	▲9.0	▲10.8	▲6.2	▲12.1	▲0.2	▲1.9	10.1	▲0.2
科学光学機器	▲6.1	▲16.3	▲12.6	▲7.1	▲5.8	▲0.4	2.5	▲0.0

EU向け輸出金額 内訳

	2011/04	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.7	▲8.8	8.0	6.0	6.0	7.6	100.0	7.6
食料品	▲54.2	▲24.7	47.9	▲1.7	▲19.1	22.4	0.2	0.0
原料品	▲6.3	24.8	20.9	34.9	4.4	81.5	1.3	0.6
鉱物性燃料	2190.3	▲78.2	809.3	▲96.2	▲95.5	▲97.1	0.0	▲1.6
化学製品	7.1	▲10.8	3.4	4.3	▲3.3	1.3	7.3	0.1
原料別製品	4.0	4.0	8.6	1.8	6.8	15.8	7.2	1.1
鉄鋼	▲11.2	34.1	▲14.7	▲27.1	▲0.7	4.1	1.1	0.0
非鉄金属	15.8	▲54.6	1.3	28.7	10.7	100.9	1.2	0.6
金属製品	15.6	10.3	9.9	▲8.5	5.4	▲1.4	1.3	▲0.0
一般機械	2.6	1.4	24.4	15.0	9.3	11.3	24.3	2.6
電気機器	▲6.2	▲7.4	5.3	12.7	2.6	▲1.5	18.9	▲0.3
半導体等電子部品	▲9.5	▲5.0	▲0.2	▲5.8	▲21.0	▲28.3	2.8	▲1.2
I C	▲8.3	▲29.6	▲16.2	▲6.4	▲12.6	▲19.9	1.3	▲0.3
映像記録・再生機器	▲43.8	▲25.1	14.1	29.8	8.3	▲8.8	2.2	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲9.4	▲25.0	▲31.6	▲11.0	▲42.2	▲47.1	0.6	▲0.6
電気回路等の機器	18.0	▲6.9	1.7	11.1	10.8	6.3	1.6	0.1
輸送用機器	▲48.6	▲23.0	2.7	▲9.0	3.6	20.4	24.2	4.4
自動車	▲69.9	▲35.8	1.5	▲5.7	7.4	31.9	13.8	3.6
自動車の部分品	▲8.9	3.0	9.7	3.4	2.7	9.4	5.7	0.5
その他	3.9	▲13.3	▲5.3	15.5	20.3	3.8	16.6	0.7
科学光学機器	12.8	▲17.6	0.5	3.1	▲16.7	3.2	3.9	0.1

アジア向け輸出金額 内訳								
	2011/04	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.6	▲8.7	▲1.7	▲2.8	0.3	0.2	100.0	0.2
食料品	▲23.0	▲26.2	▲7.3	▲15.3	▲10.7	▲13.6	0.6	▲0.1
原料品	▲17.5	▲14.2	14.0	20.3	16.1	11.7	2.0	0.2
鉱物性燃料	▲34.1	28.0	105.7	49.3	16.1	30.7	2.8	0.7
化学製品	4.8	▲2.9	▲3.1	▲4.6	1.9	0.6	12.8	0.1
原料別製品	1.6	▲6.8	▲6.3	▲2.2	1.9	0.5	16.1	0.1
鉄鋼	7.2	▲3.8	▲9.0	▲1.0	▲0.4	▲5.5	7.2	▲0.4
非鉄金属	▲9.4	▲17.2	▲8.7	▲3.8	7.1	11.1	3.0	0.3
金属製品	▲1.0	▲8.4	▲2.7	▲1.9	1.4	5.1	1.7	0.1
一般機械	0.9	▲1.2	4.5	▲1.2	▲4.9	▲8.5	19.1	▲1.8
電気機器	▲12.7	▲18.1	▲11.0	▲10.4	▲6.8	▲3.9	22.5	▲0.9
半導体等電子部品	▲18.9	▲19.3	▲17.5	▲15.9	▲15.8	▲7.9	8.7	▲0.8
IC	▲22.8	▲22.7	▲19.9	▲16.7	▲17.6	▲8.1	6.1	▲0.5
映像記録・再生機器	▲49.4	▲26.1	3.4	13.3	22.1	▲15.7	0.9	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲25.1	▲28.6	▲18.6	▲18.2	▲7.3	10.7	1.0	0.1
電気回路等の機器	▲2.0	▲18.2	▲2.9	▲8.4	0.4	4.2	3.8	0.2
輸送用機器	▲28.1	▲24.8	▲1.9	4.2	18.1	3.7	9.9	0.4
自動車	▲51.5	▲27.6	▲2.3	9.4	13.9	10.0	4.3	0.4
自動車の部分品	▲19.0	▲25.8	▲10.4	0.9	13.3	13.3	4.3	0.5
その他	▲7.9	▲6.2	0.3	▲4.8	2.7	12.3	14.2	1.6
科学光学機器	▲2.1	2.9	6.9	5.6	7.8	17.7	4.0	0.6

中国向け輸出金額 内訳								
	2011/04	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.8	▲8.1	1.2	▲1.0	2.4	2.7	100.0	2.7
食料品	▲64.1	▲67.6	▲52.4	▲59.3	▲35.8	▲54.0	0.1	▲0.1
原料品	▲17.7	▲6.2	22.9	17.4	17.9	11.1	3.2	0.3
鉱物性燃料	▲57.1	▲17.9	183.2	▲2.7	▲32.1	▲4.3	1.3	▲0.1
化学製品	4.6	▲1.3	▲4.9	0.8	7.2	7.5	12.3	0.9
原料別製品	▲10.9	▲10.9	▲11.2	▲6.1	3.2	6.6	13.6	0.9
鉄鋼	▲11.7	▲0.3	▲13.5	▲6.2	2.8	2.7	5.0	0.1
非鉄金属	▲33.6	▲35.3	▲23.0	▲12.7	9.3	18.8	3.0	0.5
金属製品	2.1	▲9.4	▲7.4	▲9.0	3.8	5.2	1.6	0.1
一般機械	19.7	7.8	16.8	1.8	1.5	0.9	21.7	0.2
電気機器	▲11.0	▲12.2	▲2.7	▲2.4	▲0.1	▲3.6	23.9	▲0.9
半導体等電子部品	▲6.7	▲1.6	▲0.8	0.2	▲7.1	▲1.3	8.6	▲0.1
IC	▲8.1	▲2.8	▲0.5	4.0	▲7.0	2.3	6.5	0.1
映像記録・再生機器	▲56.3	▲24.9	▲6.2	▲1.4	24.4	▲30.4	1.2	▲0.5
音響・映像機器の部分品	▲15.4	▲2.8	2.2	1.1	19.1	29.0	1.3	0.3
電気回路等の機器	▲5.4	▲23.0	▲2.6	▲10.5	▲0.2	▲2.2	4.0	▲0.1
輸送用機器	▲40.5	▲33.4	▲8.1	3.8	21.0	13.1	11.7	1.4
自動車	▲69.2	▲40.1	▲7.5	▲2.0	14.7	7.7	5.6	0.4
自動車の部分品	▲21.5	▲31.4	▲11.7	8.8	23.6	15.6	5.7	0.8
その他	▲11.3	▲11.8	▲4.7	▲5.9	▲7.2	1.3	12.2	0.2
科学光学機器	▲6.0	▲1.2	4.1	9.0	5.7	21.4	5.4	1.0

(出所) 財務省統計より大和総研作成